

SWOT分析

### 1. SWOT分析

SWOT分析とは、内部資源を「強み」と「弱み」に、外部状況を「機会」と「脅威」に整理する環境分析手法。本委員会では、西敷地の現状(内部資源)と、西敷地を取り巻く環境が与える影響(外部状況)とを分析しながら、西敷地にふさわしい機能を発見する。

内部		プラス要因	
		S: 強み	O: 機会
弱み (Weaknesses)		機会 (Opportunities)	
西敷地が、他の土地よりも優れた・勝てる・得意なところは何か？		西敷地にとって有利な・安全な・役立つ社会環境の変化は何か？	
W: 弱み		T: 脅威	
マイナス要因		外部	
強み (Strengths)		脅威 (Threats)	
西敷地が、他の土地よりも劣った・負ける・苦手なところは何か？		西敷地にとって不利な・危険な・負担増となる社会環境の変化は何か？	

### 3. クロスSWOT分析

クロスSWOTを作成すると、戦略・施策のバリエーションを考えることができる

- 「強み」×「機会」⇒「積極攻勢」戦略
- 「強み」×「脅威」⇒「差別化」戦略
- 「弱み」×「機会」⇒「弱点強化」戦略
- 「弱み」×「脅威」⇒「防衛・撤退」戦略

→ 考えられる戦略・施策をリストアップ  
→ とるべき戦略・施策を選択

		外部状況	
		機会	脅威
内部資源	強み	<b>「積極攻勢」</b> 強みを活かして機会を最大限に利用するためには、どのような機能がふさわしいか。	<b>「差別化」</b> 強みを活かして脅威を回避するためには、どのような機能がふさわしいか。
	弱み	<b>「弱点強化」</b> 弱みによって機会を逃さないために、補完、改善を行うには、どのような機能がふさわしいか。	<b>「防衛・撤退」</b> 想定される最悪の事態を回避するには、何をすべきか。

### 2. SWOT分析とGAP分析を重ねる

SWOT分析で得られた「強み」と「機会」のプラス要因と、「弱み」と「脅威」のマイナス要因のギャップから、「ありたい姿」と「避けたい姿」を導き出す。考察手法としては、始めに「強み」を確認したうえで、反時計回りに「弱み」と「脅威」のマイナス要因から「避けたい姿」を描くと対極にある「ありたい姿」が求めやすい。

内部		プラス要因	
		S: 強み	O: 機会
ありたい姿		外部	
避けたい姿		T: 脅威	
W: 弱み		マイナス要因	

### 4. 提案書の設計

これまでの分析をまとめ、課題や目指すべき方向、戦略を様々な情報で裏付ける。

```

    graph TD
        A["【切り口1】  
西敷地の現状  
(内部資源)"] --> B["西敷地の課題  
(避けたい姿への対処)"]
        C["【切り口2】  
西敷地を取り巻く環境  
(外部状況)"] --> B
        B --> D["基本コンセプト  
(目指すべき方向・ありたい姿)"]
        D --> E["西敷地にふさわしい導入機能  
(戦略)"]
    
```